

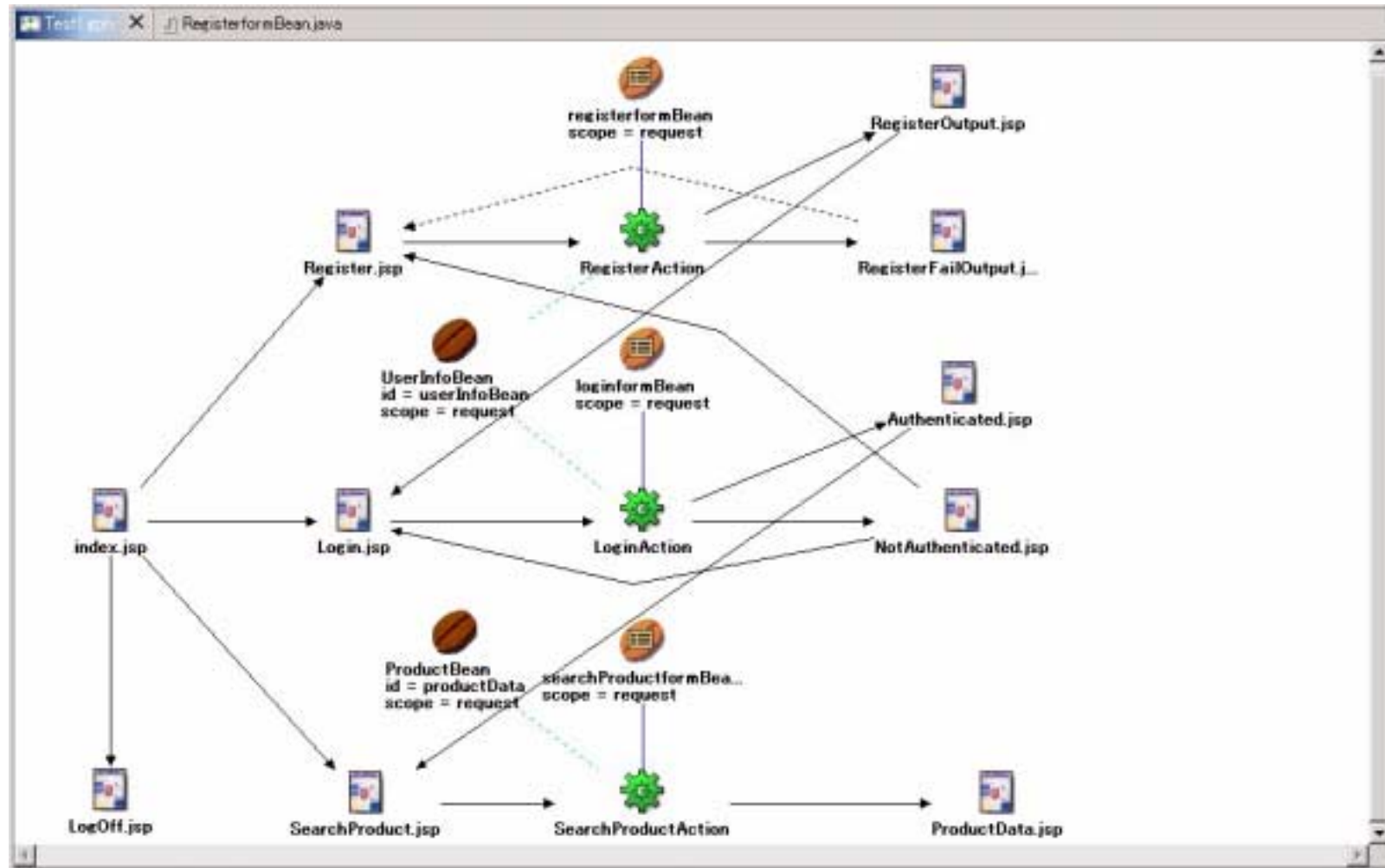
WSAD Strutsサポート



■ WSADがもつStrutsサポートツールを紹介します。

- Webダイアグラム
- Action/ActionForm/JSPウィザード
- ビジュアルライザー

- Webダイアグラムは、Strutsアプリケーションの動作フローを定義し、各コンポーネントの雛形作成を支援します。



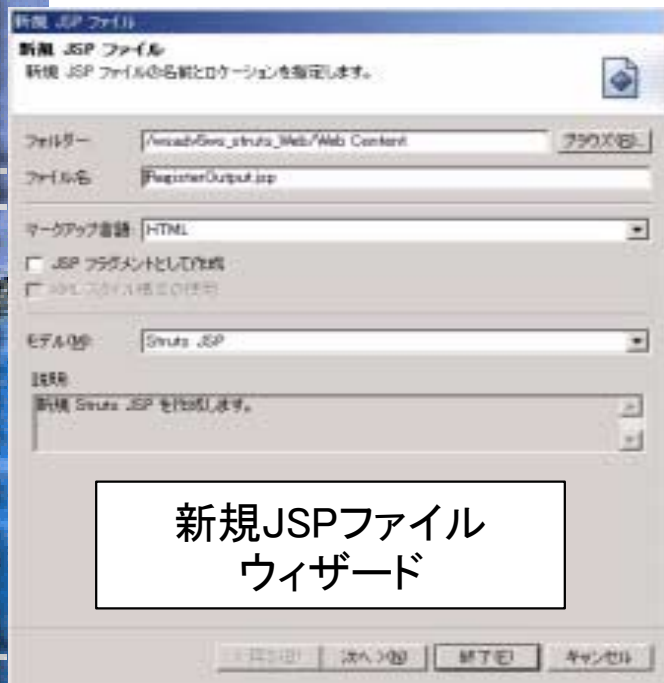


■ Webダイアグラムは、Strutsアプリケーションの動作フローをGUI上で設計できるツールです。

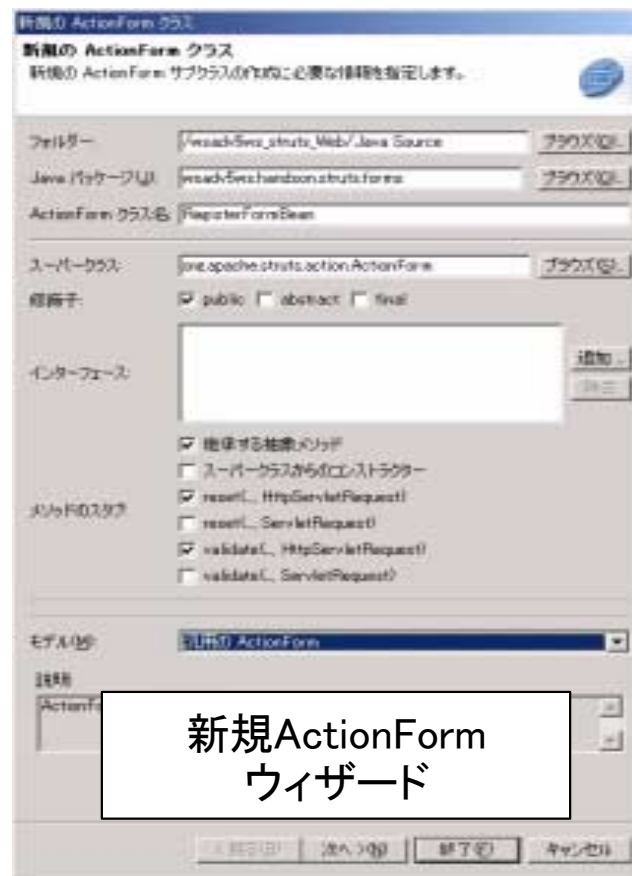
- JSP/Action/ActionFormなどは、すべてノードとして扱います。
- 配置したノードを接続していくことにより、動作フローを設計します。
- ノードアイコンの色により、そのノードが存在するかどうかを判断することができます。
 - カラーアイコン: ノードが存在します。
 - グレーアイコン: ノードが存在しません。
- グレーアイコンをダブルクリックすることで、そのノードを作成するのに必要なウィザードが起動します。

Action/ActionForm/JSPウィザード

- ❏ ウィザードを使用することで、作成するAction/ActionForm/JSPのStruts構成ファイルの登録や雛形の作成を行えます。
- ❏ Webダイアグラムとあわせて使用すると、さらに効果的です。



新規JSPファイル
ウィザード



新規ActionForm
ウィザード




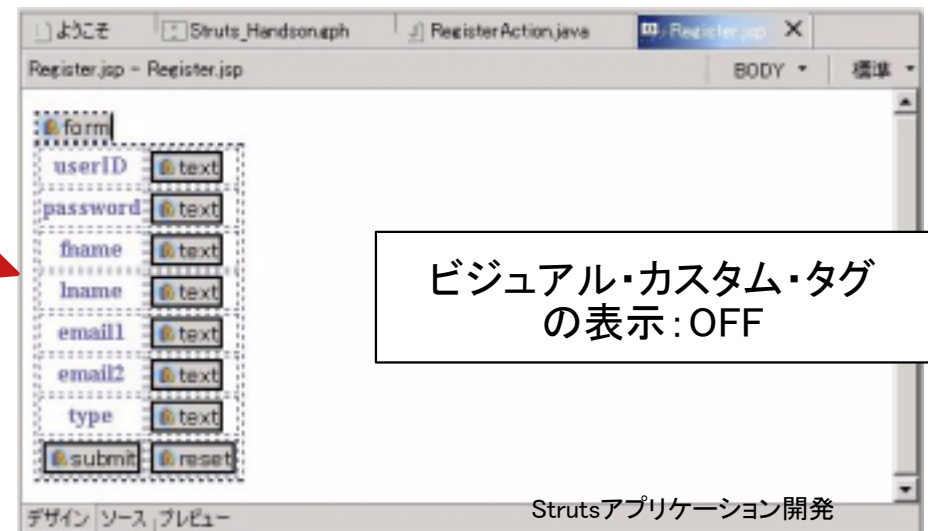
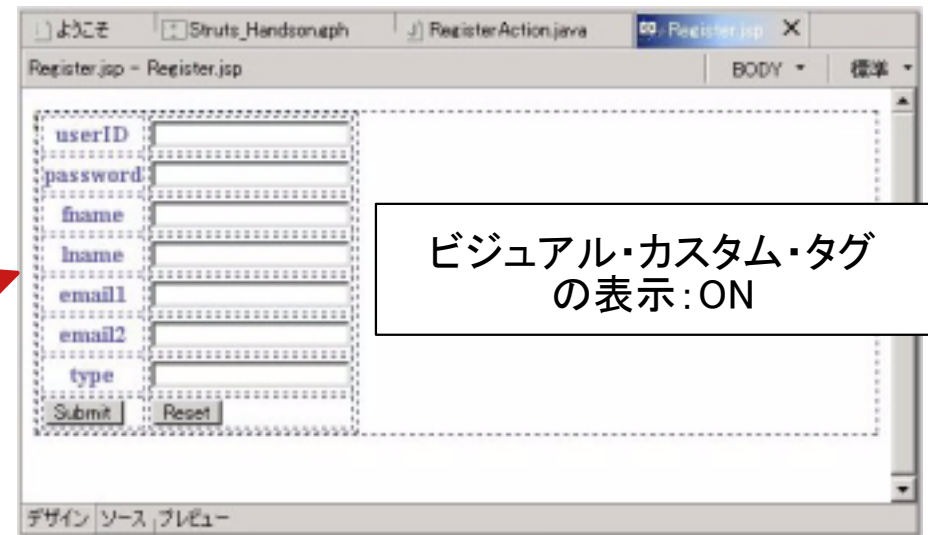
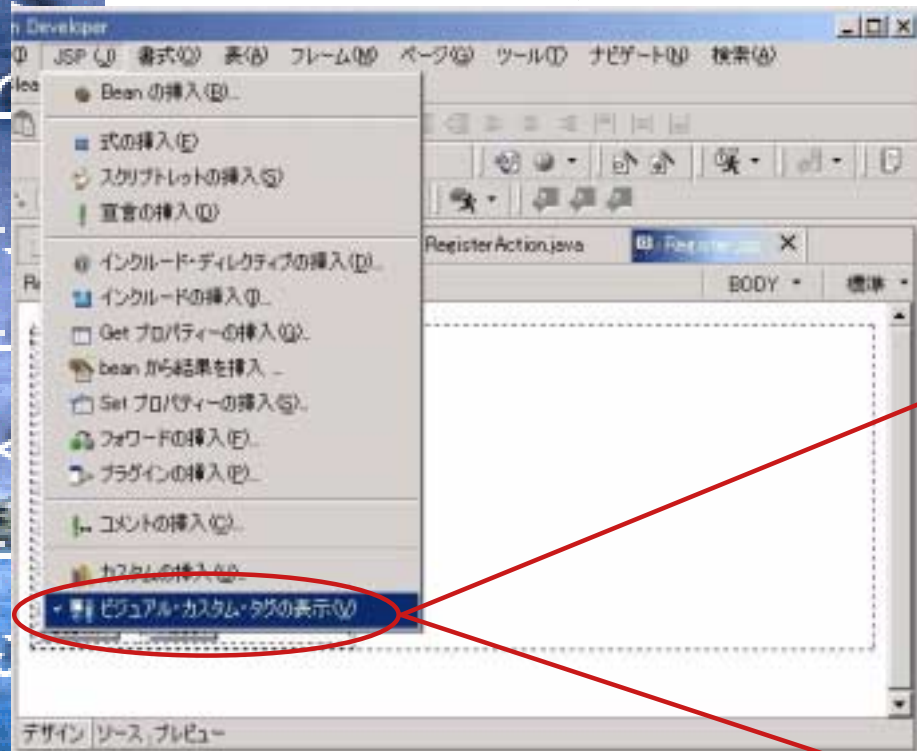
新規アクション・マッピング
ウィザード



- **各コンポーネントを新規作成する際には、各コンポーネントの雛型を提供するウィザードが起動します。ウィザードを利用することで作業効率を上げることができます。**
 - 作成したコンポーネントを、作成と同時にStruts構成ファイルに登録することができます。(Action/ActionForm)
 - 必要なメソッドの雛型を提供します。(Action/ActionForm)
 - フィールドの定義を行うことで、必要なフォームもしくはフィールドの雛型を提供します。(JSP/ActionForm)
 - 転送先を定義することで、作成と同時にStruts構成ファイルに登録することができます。(Action)

- **Webダイアグラムに配置したノードをダブルクリックすることでも、ウィザードが起動します。**
 - Webダイアグラムに登録されている情報を使用し、ウィザードへの設定を行います。

-  JSPタグライブラリを使用している場合は、その位置にアイコンが表示されますが、仮想的にタグの内容を表示する機能がページデザイナーに搭載されています。





- Strutsでは、特にJSPタグライブラリを多用します。従来、JSPタグライブラリはアイコンで表示されるだけでしたのでレイアウトの際の問題になることがありましたが、V5からはあたかも実行されているかのように表示できます。
 - すべてのJSPタグライブラリで使用できるわけではありません。